

会 議 録

(敬称略)

会議の名称	令和6年度 第4回 茨木市駅前周辺整備基本計画協議会
開催日時	令和7年3月21日(金) 午前10時00分 開会 午前10時50分 閉会
開催場所	茨木市役所南館10階 大会議室
会 長	久 隆 浩
出席者	【公募市民】森川 孝子 【学識経験者】久 隆浩、塚口 博司、下村 泰彦、辻田 素子 【関係団体から推薦された者】 自治会関係者…小河 尚司、岡村 美範 経済団体…笹井 直木 交通事業者…中嶋 和政、高岸 実良、田中 弥(代理：壇) 【11人】
欠席者	【関係団体から推薦された者】 自治会関係者…大塚 康央 交通事業者…野津 俊明、田邊 勝己、居島 伸一
傍聴人	12人
事務局職員	足立副市長、福井都市整備部長、宮本市街地新生課長、藤後市街地新生課参事、辻井市街地新生課長代理兼市街地Aグループ長、吉備市街地新生課上席主幹、黒葛原市街地Bグループ長 【7人】
開催形態	公開
議題(案件)	1 会長及び副会長の選出について 2 議案審議 (1)パブリックコメントの意見とその対応について (2)答申(案)について
会議資料	(1)会議次第 (2)配席図 (3)委員名簿 (4)パブリックコメントの意見とその対応について (5)JR茨木駅・阪急茨木市駅 西口駅前周辺整備基本計画(案) (6)答申(案)

議 事 の 経 過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
事務局	1 開会 （あいさつ） 2 会長及び副会長の選出について （委員の互選により、会長は久委員、副会長は塚口委員に決定） 3 議案審議 <u>案件1 パブリックコメントの意見とその対応について</u> （資料3及び資料4にて説明） 【質疑なし】 <u>案件2 答申（案）について</u> 久会長 資料4及び資料5を市長に答申したいと考えている。 資料5の下記に重要な点を記載したが、追加修正等があれば意見をいただきたい。 【意見なし】 久会長 それでは意見なしということで、この案で答申する。 4 その他 久会長 案件はすべて終了した。事務局から連絡事項等をお願いする。 事務局 本協議会は本日が最終回となることから、副市長の足立より挨拶を申し上げます。 足立副市長 委員の皆様には何度もこの場に足を運んでいただき、議論を重ねていただきまして大変ありがとうございます。 駅前周辺整備ということで、ＪＲと阪急の事業ステージが違う中、一括で協議していただく難しいものであったかと思います。

議 事 の 経 過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
	パブリックコメントも多くの意見をいただきました。厳しい意見の一方で、前向きに進めて欲しいという意見も多くいただき、駅前に期待される声が多いというのを我々もひしひしと感じております。 さらに前に進めていくためには、ここでいただいたご意見を踏まえ、市民や地域の権利者の方等、色々な方と意見交換しながら、駅前に求める機能をどうすれば実現できるか、丁寧に議論していくことかと思っております。本日はどうもありがとうございました。
久会長	委員の皆様からも、感想や今後の思い等をいただきたい。
森川委員	この1年どうもありがとうございました。市民という形で参加させていただいたが、話題が大きく、質問等をどこでどのように出せばいいのかわからなくて、ついていけないことが多くあったが、幸い茨木市は他の市町村が立派に再開発をされた様子を見た上で取りかかることができるので、茨木市はすごく得をしていると思っている。今、華やかな枚方、門真、高槻など、今度は実際に足を運び、どれだけにぎわっているのかというのを見ていきたいと思う。どうもありがとうございました。
塚口副会長	全体を通して、基本計画案、答申案は上手くまとめていただいたと思う。事務局をはじめ皆様方ご苦勞様でございました。2点の意見を申し上げます。 まず1つ目は、今後はエリアマネジメントが重要ということであるが、2つのコアで進捗状況が異なっており、それを結ぶ道路がある中心市街地全体を視野にしてマネジメントする力量のある方にお手伝いいただくことも必要だと思う。 2つ目は、協議会の当初において、色々な計画を立案されて、2コア1パークの考え方も示されている中で、今さら基本計画かという思いがあったのは事実である。しかしながら、この協議会の使命として、どこまでオーソライズされているのかわからなかったものが、現在の到達点の共通認識ができたという点で、非常に大きな意味があったと思う。 あともう一つ、ささいなところで付け加えると、駅前広場を歩行者優先の安全な空間にすることはいいことであるが、駅前に自動車交通が直接入ってくる現状をうまく処理していくことが歩行者の安全につながるので、その辺りは基本計画の行間に書かれているものと理解している。

議 事 の 経 過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
下村委員	茨木市の中心部を今後どうしていくかという羅針盤が完成したと理解している。今後の期待も含めて3点の意見を申し上げたい。 1つ目は、今後の進め方について、具体的な市街地整備に関わる各種事業手法を決定していく厄介な手続きをこれから構築されていくこととなる。基本計画に書かれているとおり、今回は基本構想から基本計画というところの大きな方向性、羅針盤ということで、今後、合意形成手法をどのように決めていくのか、しっかり対応していく必要があると感じている。 2つ目は、4つの整備方針の大部分を占めるのが機能面のあり方であり、今後大事になってくるのが空間イメージの構築だと思う。例えば「緑が感じられる空間の創出」といっても、里山的な雰囲気とするのか、花がいっぱいの街中のオアシスとするのか、今後、具体的な空間イメージを市民の方々と協力しながら構築していく必要があると思っている。機能面の導入については、きっちり整理ができていると思う。 3つ目は、エリアマネジメント活動の展開イメージに高校や民間事業者を追記いただき、広範囲の団体のかかわりが示されたのは非常に良いと思う。今後、具体的にどういうタイミングで意見を聞き、どのように取り込んでいくのか、プロセス的なことを考えなければならないことと併せて、駅前からパークにどのように波及させ、そこに民間や市民の協力体制を含めて、事業手法やどこから手を付けるのかなどを共有して進めていく必要があると思う。そうすることによって、広範囲な中心市街地のエリアマネジメントに将来が見えてくるのではないかと期待している。
辻田委員	この計画は、特性も発展段階も異なる2駅の基本計画を1つにまとめるという、個人的には非常に悩ましい仕事という印象であったが、皆様のご尽力でまとめられたのは嬉しく思っている。結果的には、複雑な計画段階や色々な利害関係者がいる中、そこにはあまり手をつかまらず次の段階に回したことが、うまくまとめられた1つの要因でもあると思っている。そのため、計画実現のプロセスにおいて、協力の仕方やコンセンサスの作り方について、懸案事項として残ってしまったというのが悩ましい。 というのも、こうした計画づくりのパブリックコメントとしては、大変たくさんの意見をいただいていたにびっくりしたが、それだけ皆さんの思いが強い。今後、多様な主体の連携、協働の仕組みづくりに、特に力を入れてやっていただければと思っている。

議 事 の 経 過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
小河委員	基本計画案がまとまり、これをスタートに市も基本方針を基に継続的に議論し、市民の意見や関係者の協力を得ながら進めていただきたいと思います。 私も基本計画に基づいた視点で、協力できるところは協力していくということで、見ていきたいと思っております。 市民もこの計画を期待し、もっと茨木市が良くなることを願っていると思いますので、市の独断にならないよう意見を聞いいただき、いろいろ参考にして進めてほしいと思っております。
岡村委員	J R 茨木の地元ということで、具体的な思いが先に走ってしまい、なかなか基本計画というところに、協力できなかったのかなという思いがある。私も 70 数年茨木におり、長年の流れの中で 1970 年以前は水たまりだらけの J R 茨木駅が 1970 年をきっかけに整備されたが、でも実際は春の 4 月から 10 月までの 6 ヶ月間だけで、具体的に言えば西駅前歩道橋も凍ってしまって歩けない時期がいっぱいありましたし、その後もやさしいまちづくりではない、上がれない、通れない、というところがたくさんあったと思う。 最近特に感じるところは、エキスポロードに以前はたくさんの方が歩いていたが、吹田スタジアムが整備され、モノレールを利用する方が増え、人が歩かなくなっている。また、地元の方がエキスポロードを歩いても歩道橋のところで流れが止まってしまう。歩道橋の完成時は画期的だと思っていたが、現在は自転車の方しかエキスポロードを使わないような状態でもある。こうしたことも十分理解していただきたいと思っている。
笹井委員	基本計画協議会というような会の参加はおそらく初めてで、段取りもわからない中、回を重ねるごとにこういうことだとわかってきた。 2 点、意見がある。 1 つ目は、おにクルは市民のいろいろな意見を集めて運営しているということで、法律的に順番ややり方が決まっているものは仕方がないが、今後もこのまちづくりについて、広く市民から意見を取ってもらえたらと思う。そう考えると、今回の 53 名 190 件という意見の多さは非常に大きなバロメーターになると思っている。 もう一つは、副市長のいう丁寧に進めていく必要があるとともに、やはり簡潔にしていく必要があるのかなと思っている。誰かが判断していかないと次には進めないなので、丁寧に、簡潔に話を進めていただいて、ご年配の方にも自分には関係ない時期のことではなく、数年後の

議 事 の 経 過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
中嶋委員	話で意見を汲んでいただければというふうに思った。このような場に呼んでいただき感謝している。 個人的ではあるが、茨木に来たのは 55 年前の万博の時で、その時は茨木駅に降りて、すごくにぎやかで発展しているところだと思った。この協議会に参加し、皆様のまちづくりに対する熱意を深く肌を感じていた。私どもも鉄道事業者として、茨木の駅ってというのは、すごく重要なポイントとしている。 J R 茨木駅、阪急茨木市駅は、交通結節点としての多くの人が往来する市の玄関口という記載があるとおり、私どもとしてもまちのにぎわいづくりとして、定住人口や交流人口促進、ダムパークいばきた、大学など、多くの方が茨木を利用されるところで、交通事業者として色々と携わらせていただいたことをすごくありがたく思っている。今後も、駅前周辺開発について具体的に進めていかれるということで、私どもも鉄道事業者としても、皆様と一体になって、にぎやかなまちづくりに努めていきたいと思う。
高岸委員	交通事業者ということで協議会に参加しているが、これからの鉄道事業者は電車を運営するだけではなく、自治体と同じような視点で、沿線に居住者が増える、交流人口が増える、関係人口が増える、これをどうしていくかというのを、一生懸命、会社としても勉強している状況で、このような場に参加させていただき、個人的にも収穫が多かった。特にパブリックコメントにたくさんの意見をいただき、また、委員の皆様の生の議論を聞かせていただいたことは、大きな学びにつながったと思う。 茨木市は 2 コア 1 パーク & モールという特徴的で強みのあるまちとして注目をしている中で、26 ページにもいい形で今後のエリアマネジメントの展開イメージ図があるが、阪急駅前だけでなく、パークや J R 茨木駅前も含め有機的にどうつながり、にぎわいをつくっていくのが、次の課題になっていくのだろうと思っている。 私どもも色々なところで、エリアマネジメントを含めて勉強しているところであり、今後、こうした場で議論をさせていただくことがあれば、積極的に参加していきたいと考えている。
田中委員 (代理：檀)	ご存じの通り、バス事業というのは暗い話題しかない中ではあるが、今後、J R 茨木駅前、阪急茨木市駅前がどのように変化していくか、非常に楽しみに考えている。交通事業者としても協力できるところ

議 事 の 経 過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
久会長	は、ぜひ全力をもって協力していきたいと思っているので、いろいろとご協議の程よろしく願います。 最後に私の方でも一言お話をさせていただく。 この計画を実現するためには、「連携」が重要なキーワードだと思っており、2つの連携がある。 まず「場所の連携」であり、2コア1パーク&モールという形は、それぞれ別個に進めるのではなく、連携しながら進めていく観点が最も重要だと思っている。パークの中心であるおにクルには年間200万人が来館するが、それぞれの駅や商店街に人を流せているかという、まだ十分ではないと思っている。上手く流し込むためにも、やはり整備デザインが重要になってくると思っている。 そのためにも、もう1つの「様々な主体の連携」がどこまで取れるかというところが重要で、「できるまでの連携」とともに、「できた後も連携」を取る。その上で、エリアマネジメントができるかどうかというところが、勝負どころだと思っている。 具体例でいうと、萱野中央や小野原西の土地区画整理事業では、地権者と数年かけて議論をしてまちをつくり、そして今もそれなりの人に使っていただけるまちになっている。きちんと地権者も含めて、一緒にいいまちをつくろうと言ってきたことの成果だと思っている。 さらに細かい話であるが、それぞれのデザインが上手く連携できているのかというところで、阪急茨木市駅前もJR茨木駅前も歩道橋とビルの高さが微妙に違っており、歩道橋に行くときに階段を数段登らないといけない状況である。こういったところを対応していくには、それぞれの設計段階から高さを揃えていくっていう意識がないといけない。非常に細かな話だが、作ってから調整をするのは遅い。計画段階から詳細なデザインを合わせていかないとできない。 上手く調整ができた事例として、阪急山田駅前ではモノレールから阪急の西側商業ビル、阪急の駅、さらに西側に伸びている歩道橋まで、ほぼ段差なく使えるようになっている。これは徹底したデザイン調整をしていただいたおかげかと思う。微妙な調整も含めて、これからどれだけそれぞれの方々が連携できるかというところがポイントだと思う。 駅前再開発は10～20年経つと少しずつ人が集まらなくなることがあるが、マネジメントができていないことが原因である。こうした事業はビルが完成し、まちができた後は全て地権者に返し、地権者が自分都

議 事 の 経 過	
発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
	合で使うため、だんだんバラバラになってしまう。今回はそうならないように、全てにわたり常に駅前全体を、あるいはまちなか全体をマネジメントできるような仕組みを動かしていくことが重要だと思っている。先ほど、その仕掛けについて明記はされているが具体的に踏み込めていないというご意見があったが、市の想いとしてはこの協議会のメンバーが今後も核となりながら、エリアマネジメントの運営に参画いただきたいということが事務局側にはあろうかと思うので、これからも一緒に歩ませていただけたらと思う。 また、「今後、誰が全体を見ていくのか」という話もあったが、私は協議会の議長も賜っているし、おにクルの館長も担っている。さらに茨木市の住民でもあり、ある意味逃げることができない立場にある。これからも皆さんと一緒にこの計画の1つ1つが実現できるように、私も頑張らせていただければなと思っている。委員の皆様からもいただいておりますように、この計画は作って終わりではないので、これからもご協力をいただきながら、1つ1つ実現をしていければというふうに思っているので、今後ともよろしくお願いします。
久会長	それでは事務局に進行をお返しする。 5 閉会
事務局	以上をもって、令和6年度第4回茨木市駅前周辺整備基本計画協議会を終了する。今後とも本市市政に格別のご高配をよろしくお願いします。